

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-244673

(43)Date of publication of application : 08.09.2000

(51)Int.Cl.

H04M 11/00
H04B 1/034
H04B 7/26
H04M 1/27
H04N 1/32
H04N 7/14

(21)Application number : 11-046771

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing : 24.02.1999

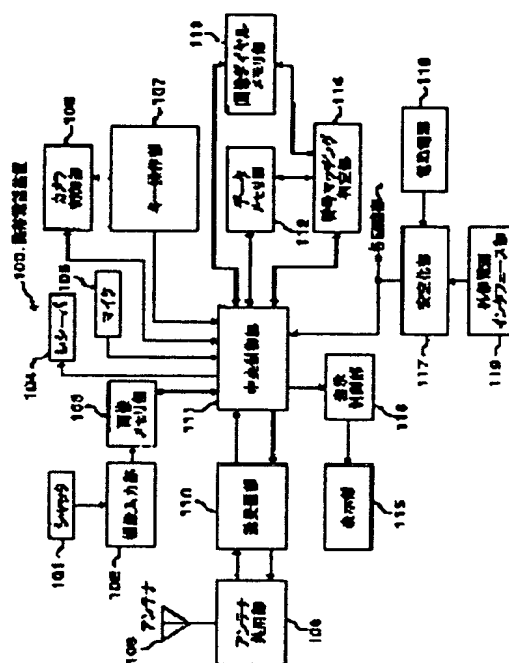
(72)Inventor : KIKUCHI HIDETOSHI

(54) PORTABLE TELEPHONE DEVICE AND ITS METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To photograph a human body or an object or the like with a camera, and to transmit and receive the photographed picture, and to accurately recognize and call the name or telephone number of the destination.

SOLUTION: A subject is photographed with a camera function having a shutter 101, an image pickup input part 102 and a camera control part 106, and the picked-up image is converted into picture data by a picked-up image inputting part 102, and the converted image data are transmitted to the destination of speech under the transmission control of a central control part 111. Also, a picture dial is prepared by making the destination of speech telephone number inputted by a key operating part 107 correspond to the picture data, and the prepared picture dial is stored in a picture dial memory part 113, and the stored picture dial is displayed at a display part 115, and a call is made with the picture dial selected according to the selecting operation of the key operating part 107 under the control of the central control part 111.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C): 1998,2003 Japan Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-244673

(P 2 0 0 0 - 2 4 4 6 7 3 A)

(43) 公開日 平成12年 9 月 8 日 (2000. 9. 8)

(51) Int. Cl. ⁷	識別記号	F I	ページ	(参考)
H04M 11/00	302	H04M 11/00	302	5C064
H04B 1/034		H04B 1/034		5C075
7/26		H04M 1/27		5K036
H04M 1/27		H04N 1/32	2	5K060
H04N 1/32		7/14		5K067

審査請求 未請求 請求項の数27 O L (全15頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願平11-46771

(22) 出願日 平成11年 2 月 24 日 (1999. 2. 24)

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 菊地 英俊

神奈川県横浜市港北区綱島東四丁目 3 番 1

号 松下通信工業株式会社内

(74) 代理人 100105050

弁理士 鷲田 公一

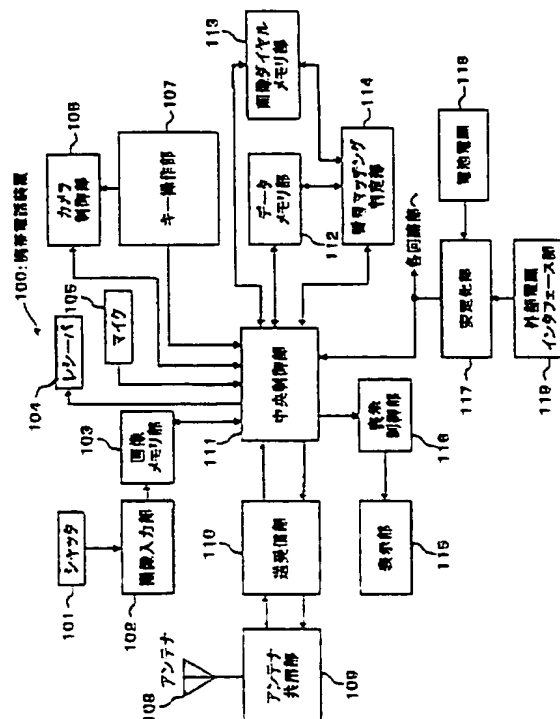
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 携帯電話装置及び方法

(57) 【要約】

【課題】 人や物等をカメラ撮影することができ、その撮影された画像を送受信することができ、更に通話先の名前や電話番号を正確に認識して発呼すること。

【解決手段】 シャッタ101、撮像入力部102及びカメラ制御部106を有するカメラ機能により被写体を撮影し、この撮像を撮像入力部102で画像データに変換し、この変換された画像データを、中央制御部111の送信制御により通話先へ送信する。また、中央制御部111が、キー操作部107で操作入力された通話先電話番号を、画像データに対応付けて画像ダイヤルを形成し、この形成された画像ダイヤルを画像ダイヤルメモリ部113に記憶し、この記憶画像ダイヤルを表示部115に表示し、この表示の中から、キー操作部107での選択操作に応じて選択された画像ダイヤルで発呼を行うようにする。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 被写体をカメラ撮影し、この撮像を画像データに変換するカメラ機能と、前記画像データを通話先へ送信する制御手段と、を具備することを特徴とする携帯電話装置。

【請求項 2】 第 1 記憶手段と、表示手段とを備え、制御手段が、操作入力された通話先電話番号を画像データに対応付けて画像ダイヤルを形成し、この形成された画像ダイヤルを前記第 1 記憶手段に記憶し、この記憶画像ダイヤルを前記表示手段に表示し、この表示の中から選択操作に応じて選択された画像ダイヤルで発呼を行うことを特徴とする請求項 1 記載の携帯電話装置。

【請求項 3】 画像ダイヤルは、通話先相手又は場所の写真画像データに、前記通話先相手又は場所の電話番号を対応付けて形成されることを特徴とする請求項 2 記載の携帯電話装置。

【請求項 4】 画像ダイヤルは、通話先相手又は場所の特徴を示すキャラクタ画像データに、前記通話先相手又は場所の電話番号を対応付けて形成されることを特徴とする請求項 2 記載の携帯電話装置。

【請求項 5】 画像ダイヤルは、通話先相手又は場所の特徴を示す情報データに、前記通話先相手又は場所の電話番号を対応付けて形成されることを特徴とする請求項 2 記載の携帯電話装置。

【請求項 6】 画像ダイヤルは、音声入力手段から入力された通話先相手又は場所の特徴を示す音声データに、前記通話先相手又は場所の電話番号を対応付けて形成されることを特徴とする請求項 2 記載の携帯電話装置。

【請求項 7】 外部の情報処理手段を接続するインタフェース手段を備え、このインタフェース手段に接続された前記情報処理手段で画像ダイヤルを形成し、この形成された画像ダイヤルを第 1 記憶手段に記憶することを特徴とする請求項 2 乃至請求項 6 いずれかに記載の携帯電話装置。

【請求項 8】 通話先の電話番号が記憶された第 2 記憶手段と、画像ダイヤルでの発呼が行われる際に、前記画像ダイヤルの電話番号と前記第 2 記憶手段に記憶された電話番号とを照合し、双方の電話番号が一致するか否かを判定する判定手段とを備え、制御手段が前記一致する場合に前記画像ダイヤルで発呼を行うことを特徴とする請求項 2 乃至請求項 7 いずれかに記載の携帯電話装置。

【請求項 9】 カメラ撮影により得られる画像データを記憶する第 3 記憶手段を備え、制御手段が、前記記憶された画像データの中から選択操作に応じて選択された画像データを通話先へ転送することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 8 いずれかに記載の携帯電話装置。

【請求項 10】 制御手段が、操作入力された情報データを、第 3 記憶手段に記憶された画像データに対応付けて記憶することを特徴とする請求項 9 記載の携帯電話装置。

【請求項 11】 制御手段が、操作入力された 1 つ乃至は複数の通話先電話番号を、第 3 記憶手段に記憶された画像データに対応付けて記憶し、この記憶画像データの中から選択操作に応じて選択された画像データを前記通話先電話番号へ転送する際に、判定手段で前記通話先電話番号と第 2 記憶手段に記憶された電話番号とが一致すると判定された場合に前記転送を行うことを特徴とする請求項 9 又は請求項 10 記載の携帯電話装置。

【請求項 12】 第 4 記憶手段を備え、制御手段が、受信した画像データを表示手段に表示すると共に前記第 4 記憶手段に記憶することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 11 いずれかに記載の携帯電話装置。

【請求項 13】 操作手段に、電子メールアドレスの構成記号である @ マークを入力するための @ マーク入力キーを備え、制御手段が、前記 @ マーク入力キーを使用して入力された電子メールアドレスによって、インターネットプロバイダのコンピュータとアクセスを行うことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 12 いずれかに記載の携帯電話装置。

【請求項 14】 制御手段は、画像データ添付操作に応じて電子メール文書に画像データを添付し、この画像添付電子メール文書に電子メールアドレスを対応付けて電子メールデータを形成し、この電子メールデータを第 2 記憶手段に記憶すると共に、電子メールデータ送信時に、電子メールデータ選択操作に応じて第 2 記憶手段から送信用の電子メールデータを選択することを特徴とする請求項 13 記載の携帯電話装置。

【請求項 15】 判定手段は、プロバイダから受信された電子メールデータの電子メールアドレスと、第 2 記憶手段に登録された電子メールアドレスとを照合し、制御手段は、前記照合の結果が不一致の場合に、前記プロバイダからの電子メールデータ受信を中止することを特徴とする請求項 14 記載の携帯電話装置。

【請求項 16】 制御手段は、受信された電話番号のデータの受信を中止するための非受信電話番号と、受信された電子メールによるデータの受信を中止するための非受信キーワードとの何れか又は双方を、登録操作に応じて第 2 記憶手段に登録すると共に、判定手段により受信電話番号が前記登録された非受信電話番号と一致する、又は受信電子メールのデータが前記登録された非受信キーワードと一致すると判定された際に、前記受信電話番号又は前記受信電子メールのデータ受信を中止することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 15 いずれかに記載の携帯電話装置。

【請求項 17】 W-CDMA 方式を適用したことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 16 いずれかに記載の携帯電話装置。

【請求項 18】 請求項 1 乃至請求項 17 いずれかに記載の携帯電話装置の機能を具備することを特徴とする移動局装置。

【請求項 1 9】 請求項 1 8 記載の移動局装置を具備することを特徴とする移動体通信システム。

【請求項 2 0】 被写体をカメラ撮影し、この撮像を画像データに変換した後、通話先へ送信することを特徴とする携帯電話装置における画像伝送方法。

【請求項 2 1】 画像データを表示し、この表示された画像データに、入力操作によって通話先電話番号を対応付けて画像ダイヤルを形成したのち第 1 記憶手段に記憶し、この記憶画像ダイヤルを表示しながら選択操作に応じて選択し、この選択された画像ダイヤルで発呼を行うことを特徴とする請求項 2 0 記載の携帯電話装置における画像伝送方法。

【請求項 2 2】 外部の情報処理手段で画像ダイヤルを形成し、この形成された画像ダイヤルを第 1 記憶手段に記憶することを特徴とする請求項 2 1 記載の携帯電話装置における画像伝送方法。

【請求項 2 3】 第 2 記憶手段に通話先の電話番号を記憶し、画像ダイヤルで発呼を行う際に、前記画像ダイヤルの電話番号と前記第 2 記憶手段に記憶された電話番号とを照合し、双方の電話番号が一致する場合に前記画像ダイヤルで発呼を行うことを特徴とする請求項 2 1 又は請求項 2 2 記載の携帯電話装置における画像伝送方法。

【請求項 2 4】 第 3 記憶手段に画像データを記憶し、この記憶された画像データの中から選択操作で任意に選択した画像データを通話先へ転送することを特徴とする請求項 2 0 乃至請求項 2 3 いずれかに記載の携帯電話装置における画像伝送方法。

【請求項 2 5】 第 3 記憶手段に画像データを記憶し、この記憶画像データを表示し、この表示された画像データに、入力操作によって通話先電話番号を対応付けて前記第 3 記憶手段に記憶し、この記憶画像データを表示しながら選択操作に応じて選択し、この選択された画像データを前記通話先電話番号へ転送する際に、前記通話先電話番号と第 2 記憶手段に記憶された電話番号とが一致する場合に前記転送を行うことを特徴とする請求項 2 0 乃至請求項 2 3 いずれかに記載の携帯電話装置における画像伝送方法。

【請求項 2 6】 操作手段に、電子メールアドレスの構成記号である @ マークを入力するための @ マーク入力キーを備え、画像データ添付操作に応じて電子メール文書に画像データを添付し、この画像添付電子メール文書に前記 @ マーク入力キーを使用して入力された電子メールアドレスを対応付けて電子メールデータを形成し、この電子メールデータを第 2 記憶手段に記憶すると共に、電子メールデータ送信時に、前記第 2 記憶手段から送信用の電子メールデータを選択することを特徴とする請求項 2 0 乃至請求項 2 5 いずれかに記載の携帯電話装置における画像伝送方法。

【請求項 2 7】 受信された電話番号のデータの受信を中止するための非受信電話番号と、受信された電子メー

ルによるデータの受信を中止するための非受信キーワードとの何れか又は双方を、登録操作に応じて第 2 記憶手段に登録すると共に、受信電話番号と前記登録された非受信電話番号、又は受信電子メールのデータと前記登録された非受信キーワードとを照合し、この結果一致する場合に、前記受信電話番号又は前記受信電子メールのデータ受信を中止することを特徴とする請求項 2 0 乃至請求項 2 6 いずれかに記載の携帯電話装置における画像伝送方法。

【発明の詳細な説明】

【 0 0 0 1 】

【発明の属する技術分野】本発明は、ディジタルカメラを内蔵し、このディジタルカメラで撮影された画像を通話先へ無線送信すると共に、画像に通話先電話番号を対応付けた画像ダイヤルによって通話先を正確に認識して発呼を行うことができる携帯電話装置及び方法に関する。

【 0 0 0 2 】

【従来の技術】従来、携帯電話装置は、公衆網に有線接続された基地局を介して無線による送受信を行うことにより、相手と音声で会話を行ったり、文字・記号等のテキストデータを送受信したりする機能を備えている。

【 0 0 0 3 】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来の装置においては、相手の電話機へ発呼する際に、予め登録した電話番号を表示させて相手へ発呼を行う電話帳機能が備えられているが、その電話帳機能への登録内容が名前や電話番号のみであるため、登録された名前や電話番号が誰のものか、何処の電話番号であったのかを忘れてしまい、電話帳機能を十分に活用することができず、適正な通話先へ発呼が行えなかったりするという問題がある。

【 0 0 0 4 】また、音声や文字・記号等のデータの送受信による伝達は行えるが、人や物又は任意場所の様子等を通話相手に視覚的に伝達することはできないという問題がある。

【 0 0 0 5 】本発明はかかる点に鑑みてなされたものであり、人や物等をカメラ撮影することができ、その撮影された画像を送受信することができ、更に通話先の名前や電話番号を正確に認識して発呼することができる携帯電話装置及び方法を提供することを目的とする。

【 0 0 0 6 】

【課題を解決するための手段】本発明は、ディジタルカメラ機能を搭載し、このカメラ機能により被写体を撮影して得られる画像データを制御手段の制御で通話先へ送信し、また、制御手段が、操作入力された通話先電話番号を、画像データに対応付けて画像ダイヤルを形成し、この形成された画像ダイヤルを記憶手段に記憶し、この記憶画像ダイヤルを表示手段に表示し、この表示の中から選択操作に応じて選択された画像ダイヤルで、発呼を

10

20

30

40

50

行うようにする。

【0007】

【発明の実施の形態】本発明の第1の態様は、被写体をカメラ撮影し、この撮像を画像データに変換するカメラ機能と、前記画像データを通話先へ送信する制御手段と、を具備する構成を採る。

【0008】この構成によれば、携帯電話装置で、人や物等をカメラ撮影することができ、その撮影された画像を通話先の電話装置へ送信することができる。

【0009】本発明の第2の態様は、第1の態様において、第1記憶手段と、表示手段とを備え、制御手段が、操作入力された通話先電話番号を画像データに対応付けて画像ダイヤルを形成し、この形成された画像ダイヤルを前記第1記憶手段に記憶し、この記憶画像ダイヤルを前記表示手段に表示し、この表示の中から選択操作に応じて選択された画像ダイヤルで発呼を行う構成を採る。

【0010】この構成によれば、画像に対応付けられて表示された通話先の名前や電話番号を、目視で確認することができるので、通話先の名前や電話番号を正確に認識して発呼することができる。

【0011】本発明の第3の態様は、第2の態様において、画像ダイヤルは、通話先相手又は場所の写真画像データに、前記通話先相手又は場所の電話番号を対応付けて形成される構成を採る。

【0012】この構成によれば、画像ダイヤルで発呼を行えば、通話先の相手や場所を写真で確認しながら発呼することができ、これによって通話先を忘れたり、間違ったりすることが殆ど無くなり、所望の通話先へ確実に発呼することができる。

【0013】本発明の第4の態様は、第2の態様において、画像ダイヤルは、通話先相手又は場所の特徴を示すキャラクタ画像データに、前記通話先相手又は場所の電話番号を対応付けて形成される構成を採る。

【0014】この構成によれば、画像ダイヤルで発呼を行えば、通話先の相手や場所を目視で確認しながら発呼することができ、これによって通話先を忘れたり、間違ったりすることが殆ど無くなり、所望の通話先へ確実に発呼することができる。

【0015】本発明の第5の態様は、第2の態様において、画像ダイヤルは、通話先相手又は場所の特徴を示す情報データに、前記通話先相手又は場所の電話番号を対応付けて形成される構成を採る。

【0016】この構成によれば、画像ダイヤルで発呼を行えば、通話先の相手や場所をコメント文書等の情報で確認しながら発呼することができ、これによって通話先を忘れたり、間違ったりすることが殆ど無くなり、所望の通話先へ確実に発呼することができる。

【0017】本発明の第6の態様は、第2の態様において、画像ダイヤルは、音声入力手段から入力された通話先相手又は場所の特徴を示す音声データに、前記通話先

相手又は場所の電話番号を対応付けて形成される構成を採る。

【0018】この構成によれば、画像ダイヤルで発呼を行えば、通話先の相手や場所を音声情報で確認しながら発呼することができ、これによって通話先を忘れたり、間違ったりすることが殆ど無くなり、所望の通話先へ確実に発呼することができる。

【0019】本発明の第7の態様は、第2の態様乃至第6の態様いずれかにおいて、外部の情報処理手段を接続するインタフェース手段を備え、このインタフェース手段に接続された前記情報処理手段で画像ダイヤルを形成し、この形成された画像ダイヤルを第1記憶手段に記憶する構成を採る。

【0020】この構成によれば、多種多様の画像ダイヤルの形成が容易となり、多数作成する場合にも容易に対応することができる。

【0021】本発明の第8の態様は、第2の態様乃至第7の態様いずれかにおいて、通話先の電話番号が記憶された第2記憶手段と、画像ダイヤルでの発呼が行われる際に、前記画像ダイヤルの電話番号と前記第2記憶手段に記憶された電話番号とを照合し、双方の電話番号が一致するか否かを判定する判定手段とを備え、制御手段が前記一致する場合に前記画像ダイヤルで発呼を行う構成を採る。

【0022】この構成によれば、画像ダイヤルで間違った通話先に発呼されることを防止することができる。

【0023】本発明の第9の態様は、第1の態様乃至第8の態様いずれかにおいて、カメラ撮影により得られる画像データを記憶する第3記憶手段を備え、制御手段が、前記記憶された画像データの中から選択操作に応じて選択された画像データを通話先へ転送する構成を採る。

【0024】この構成によれば、携帯電話装置をデジタルカメラとして使用し、複数枚の画像データを撮影により得た後、所望の時間に、その中から所望の画像データを選択して通話先へ転送することができる。

【0025】本発明の第10の態様は、第9の態様において、制御手段が、操作入力された情報データを、第3記憶手段に記憶された画像データに対応付けて記憶する構成を採る。

【0026】この構成によれば、通話先に転送する画像データにコメント等の情報を付けることができ、これによって通話先相手に此方の様子や、意図することをより詳細に伝達することができる。

【0027】本発明の第11の態様は、第9の態様又は第10の態様において、制御手段が、操作入力された1つ乃至は複数の通話先電話番号を、第3記憶手段に記憶された画像データに対応付けて記憶し、この記憶画像データの中から選択操作に応じて選択された画像データを前記通話先電話番号へ転送する際に、判定手段で前記通

7
話先電話番号と第2記憶手段に記憶された電話番号とが一致すると判定された場合に前記転送を行う構成を採る。

【0028】この構成によれば、画像データを相手に送達することなく転送することができる。

【0029】本発明の第12の態様は、第1の態様乃至第11の態様いずれかにおいて、第4記憶手段を備え、制御手段が、受信した画像データを表示手段に表示すると共に前記第4記憶手段に記憶する構成を採る。

【0030】この構成によれば、相手から転送されてきた画像を任意に表示させて見ることができる。

【0031】本発明の第13の態様は、第1の態様乃至第12の態様いずれかにおいて、操作手段に、電子メールアドレスの構成記号である@マークを入力するための@マーク入力キーを備え、制御手段が、前記@マーク入力キーを使用して入力された電子メールアドレスによって、インターネットプロバイダのコンピュータとアクセスを行う構成を採る。

【0032】この構成によれば、携帯電話装置からEメールアドレスを容易に入力してインターネットのプロバイダへアクセスすることができる。

【0033】本発明の第14の態様は、第13の態様において、制御手段は、画像データ添付操作に応じて電子メール文書に画像データを添付し、この画像添付電子メール文書に電子メールアドレスを対応付けて電子メールデータを形成し、この電子メールデータを第2記憶手段に記憶すると共に、電子メールデータ送信時に、電子メールデータ選択操作に応じて第2記憶手段から送信用の電子メールデータを選択する構成を採る。

【0034】この構成によれば、画像データをプロバイダへ送信する準備を容易に行うことができ、プロバイダへ送信するEメールデータを容易に選択することができる。

【0035】本発明の第15の態様は、第14の態様において、判定手段は、プロバイダから受信された電子メールデータの電子メールアドレスと、第2記憶手段に登録された電子メールアドレスとを照合し、制御手段は、前記照合の結果が不一致の場合に、前記プロバイダからの電子メールデータ受信を中止する構成を採る。

【0036】この構成によれば、自分宛に送信されてきたEメールデータのみを適正に受信することができる。

【0037】本発明の第16の態様は、第1の態様乃至第15の態様いずれかにおいて、制御手段は、受信された電話番号のデータの受信を中止するための非受信電話番号と、受信された電子メールによるデータの受信を中止するための非受信キーワードとの何れか又は双方を、登録操作に応じて第2記憶手段に登録すると共に、判定手段により受信電話番号が前記登録された非受信電話番号と一致する、又は受信電子メールのデータが前記登録された非受信キーワードと一致すると判定された際に、

前記受信電話番号又は前記受信電子メールのデータ受信を中止する構成を採る。

【0038】この構成によれば、不要なデータの受信を自動的に中止することができる。

【0039】本発明の第17の態様は、第1の態様乃至第16の態様いずれかにおいて、W-CDMA方式を採用した構成を採る。

【0040】この構成によれば、画像データの転送を高速に行うことができる。

【0041】本発明の第18の態様は、移動局装置に、第1の態様乃至第17の態様いずれかに記載の携帯電話装置の機能を具備する構成を採る。

【0042】この構成によれば、移動局装置において、第1の態様乃至第17の態様いずれかと同様の作用効果を得ることができる。

【0043】本発明の第19の態様は、移動体通信システムに、第18の態様に記載の移動局装置を具備する構成を採る。

【0044】この構成によれば、移動体通信システムにおいて、第18の態様と同様の作用効果を得ることができる。

【0045】本発明の第20の態様は、被写体をカメラ撮影し、この撮像を画像データに変換した後、通話先へ送信するようにした。

【0046】この方法によれば、携帯電話装置で、人や物等をカメラ撮影することができ、その撮影された画像を通話先の電話装置へ送信することができる。

【0047】本発明の第21の態様は、第20の態様において、画像データを表示し、この表示された画像データに、入力操作によって通話先電話番号を対応付けて画像ダイヤルを形成したのち第1記憶手段に記憶し、この記憶画像ダイヤルを表示しながら選択操作に応じて選択し、この選択された画像ダイヤルで発呼を行うようにした。

【0048】この方法によれば、画像に対応付けられて表示された通話先の名前や電話番号を、目視で確認することができるので、通話先の名前や電話番号を正確に認識して発呼することができる。

【0049】本発明の第22の態様は、第21の態様において、外部の情報処理手段で画像ダイヤルを形成し、この形成された画像ダイヤルを第1記憶手段に記憶するようにした。

【0050】この方法によれば、多種多様の画像ダイヤルの形成が容易となり、多数作成する場合にも容易に対応することができる。

【0051】本発明の第23の態様は、第21の態様又は第22の態様において、第2記憶手段に通話先の電話番号を記憶し、画像ダイヤルで発呼を行う際に、前記画像ダイヤルの電話番号と前記第2記憶手段に記憶された電話番号とを照合し、双方の電話番号が一致する場合に

前記画像ダイヤルで発呼を行うようにした。

【0052】この方法によれば、画像ダイヤルで間違った通話先に発呼されることを防止することができる。

【0053】本発明の第24の態様は、第20の態様乃至第23の態様いずれかにおいて、第3記憶手段に画像データを記憶し、この記憶された画像データの中から選択操作で任意に選択した画像データを通話先へ転送するようにした。

【0054】この方法によれば、携帯電話装置をデジタルカメラとして使用し、複数枚の画像データを撮影により得た後、所望の時間に、その中から所望の画像データを選択して通話先へ転送することができる。

【0055】本発明の第25の態様は、第20の態様乃至第23の態様いずれかにおいて、第3記憶手段に画像データを記憶し、この記憶画像データを表示し、この表示された画像データに、入力操作によって通話先電話番号を対応付けて前記第3記憶手段に記憶し、この記憶画像データを表示しながら選択操作に応じて選択し、この選択された画像データを前記通話先電話番号へ転送する際に、前記通話先電話番号と第2記憶手段に記憶された電話番号とが一致する場合に前記転送を行うようにした。

【0056】この方法によれば、画像データを相手に間違えることなく転送することができる。

【0057】本発明の第26の態様は、第20の態様乃至第25の態様いずれかにおいて、操作手段に、電子メールアドレスの構成記号である@マークを入力するための@マーク入力キーを備え、画像データ添付操作に応じて電子メール文書に画像データを添付し、この画像添付電子メール文書に前記@マーク入力キーを使用して入力された電子メールアドレスを対応付けて電子メールアドレスを形成し、この電子メールアドレスを第2記憶手段に記憶すると共に、電子メールアドレス送信時に、前記第2記憶手段から送信用の電子メールアドレスを選択するようにした。

【0058】この方法によれば、携帯電話装置からEメールアドレスを容易に入力してインターネットのプロバイダへアクセスすることができ、画像データをプロバイダへ送信する準備を容易に行うことができ、プロバイダへ送信するEメールアドレスを容易に選択することができる。

【0059】本発明の第27の態様は、第20の態様乃至第26の態様いずれかにおいて、受信された電話番号のデータの受信を中止するための非受信電話番号と、受信された電子メールによるデータの受信を中止するための非受信キーワードとの何れか又は双方を、登録操作に応じて第2記憶手段に登録すると共に、受信電話番号と前記登録された非受信電話番号、又は受信電子メールのデータと前記登録された非受信キーワードとを照合し、この結果一致する場合に、前記受信電話番号又は前記受

信電子メールのデータ受信を中止するようにした。

【0060】この方法によれば、不要なデータの受信を自動的に中止することができる。

【0061】以下、本発明の実施の形態について、図面を参照して詳細に説明する。

【0062】（実施の形態1）図1は、本発明の実施の形態1に係る携帯電話装置の構成を示すブロック図である。

【0063】この図1に示す実施の形態1の携帯電話装置100は、デジタルカメラ機能を内蔵し、このカメラ機能で撮影された画像を図示せぬ通話先の電話機へ無線送信すると共に、画像に通話先電話番号を対応付けた画像ダイヤルによって通話先を正確に認識して発呼を行うものであり、シャッタ101と、撮像入力部102と、画像メモリ部103と、レシーバ104と、マイク105と、カメラ制御部106と、キー操作部107と、アンテナ108と、アンテナ共用部109と、送受信部110と、中央制御部111と、データメモリ部112と、画像ダイヤルメモリ部113と、番号マッチング判定部114と、表示部115と、表示制御部116と、安定化部117と、電池電源118と、外部電源インタフェース部119とを備えて構成されている。

【0064】アンテナ108は、図示せぬ基地局への電波送信を効率よく行うための内蔵又は伸縮式のものである。

【0065】アンテナ共用部109は、アンテナ108への送受信を効率良く行うためのインピーダンスマッチング及び送受信の切り替えを行うものである。

【0066】送受信部110は、アンテナ108及びアンテナ共用部109を介して受信された基地局からの信号をローカル発振周波数の信号に変換したのち復調し、この復調された信号を中央制御部111へ出力すると共に、中央制御部111から出力される信号を変調したのち無線周波数に変換してアンテナ共用部109及びアンテナ108を介して基地局へ送信するものである。

【0067】レシーバ104は、イヤホン、スピーカ等の受信された音声信号を音に変換するものである。

【0068】マイク105は、送信する音声信号を音声信号に変換するものである。

【0069】キー操作部107は、数字キー、記号等のファンクションキー等を備え、発着呼の操作、電話番号の登録操作、本実施の形態の特徴であるカメラ機能に係わる操作を行うものである。また、その操作により生成される信号は、中央制御部111及びカメラ制御部106へ出力されるようになっている。

【0070】表示制御部116は、中央制御部111の表示指示に応じて画像メモリ部103、データメモリ部112又は画像ダイヤルメモリ部113に記憶された画像データ、電話番号又はテキストデータ等を表示部115に表示する制御を行うものである。

【0071】表示部115は、液晶ディスプレイやプラズマディスプレイ等を用いたものであり、表示制御部116の制御に応じて画像、電話番号、文字等を表示するものである。

【0072】電池電源118は、充電式二次電池又は一次電池による携帯電話装置100の各回路部への供給用電源である。

【0073】外部電源インタフェース部119は、充電式二次電池の充電又は携帯電話装置100の各回路部へ給電を行う図示せぬ外部電源が接続されるものである。 10

【0074】安定化部117は、電池電源118又は外部電源インタフェース部119に接続された外部電源の安定化を行って携帯電話装置100の各回路部へ給電するものである。

【0075】カメラ制御部106は、キー操作部107からカメラの撮影機能を有効とする操作が行われた際にシャッタ101を有効すると共に、撮像入力部102の動作を制御するものである。

【0076】シャッタ101は、キー操作部107からカメラ機能を有効とする操作が行われた際にカメラ制御部106の制御によって有効となり、この時、押下されることにより被写体の画像の取り込み信号を撮像入力部102へ出力するものである。 20

【0077】撮像入力部102は、シャッタ101の作動時に入力される光学系の画像信号をデジタルの電気信号（画像データ）に変換するものである。

【0078】画像メモリ部103は、撮像入力部102で変換された画像データを記憶するものである。

【0079】データメモリ部112は、電話番号、通話先の名前や名称、文字等によるメモ等のテキストデータを記憶するものである。 30

【0080】画像ダイヤルメモリ部113は、ダイヤル帳として用いられるものであり、通話相手の顔や全身等の写真画像に、通話先電話番号を対応付けた画像ダイヤルを記憶するものである。

【0081】番号マッチング判定部114は、画像ダイヤルでの発呼時に、画像ダイヤルの電話番号が、データメモリ部112に記憶された通話先電話番号と一致しているか否かを判定すると共に、画像メモリ部103に記憶された画像データの送り先が、データメモリ部112に記憶された通話先電話番号と一致しているか否かを判定するものである。 40

【0082】中央制御部111は、キー操作部107からの後述する各種の入力操作に応じた各部の制御を一元的に行うものである。

【0083】このような構成の携帯電話装置100の動作を説明する。まず、図2に示すフロー図を参照して画像ダイヤルの登録動作を説明する。

【0084】ステップST201において、利用者がキー操作部107で電源オンの操作を行うことにより電源 50

をオンとする。

【0085】この後、ステップST202において、利用者がキー操作部107でカメラの撮影機能を有効とする操作を行い、この後、所望の被写体、例えば通話相手の顔をシャッタ101の押下操作によって撮影する。

【0086】これによって、被写体の画像の取り込み信号が撮像入力部102に入力され、撮像入力部102で画像データに変換され、この画像データが、ステップST203において、画像メモリ部103に記憶される。

【0087】次に、ステップST204において、その記憶された画像データに、電話番号や名前等の文字データを対応付ける操作を行う。

【0088】これは、まず利用者が、キー操作部107で画像メモリ部103に記憶された画像データを表示部115に表示するための操作を行う。この操作に応じて中央制御部111が、画像メモリ部103から画像データを読み出し、この読み出した画像データを表示部115に表示する指示を表示制御部116に行うことにより、表示制御部116が表示部115に画像データである通話先相手の顔を表示する。

【0089】この通話先相手の顔を表示した状態で、利用者がキー操作部107から画像データに対応付ける通話先の電話番号を入力する。この入力、電話番号のみでも良いし、又は電話番号の他に相手の名前や相手の特徴を示すコメント等を入力しても良い。また、キー操作部107以外に、マイク105からのボイスメモデータを入力しても良い。

【0090】但し、画像データに対応付けた通話先の電話番号は、この対応付けの際にデータメモリ部112に記憶するか、又は、データメモリ部112に予め記憶されていたものとする。

【0091】このような入力操作によりステップST205において、中央制御部111が通話先の電話番号等が対応付けられた画像データを画像ダイヤルメモリ部113に記憶する。

【0092】そして、ステップST206において、利用者がキー操作部107で電源オフの操作を行うことにより電源をオフとする。

【0093】但し、画像ダイヤルは、通話相手の写真画像に通話先電話番号を対応付けたものであるが、この他に、通話先相手や店等の場所の特長を示す絵、図、記号、絵文字、マークなどのキャラクタ画像に、通話先電話番号を対応付けたものでもよい。

【0094】また、画像ダイヤルは、図示せぬパーソナルコンピュータ等によって作成し、画像ダイヤルメモリ部113に記憶するようにしてもよい。この場合、携帯電話装置100は、パーソナルコンピュータを接続する図示せぬインタフェース手段を備えているものとする。

【0095】次に、図3に示すフロー図を参照して、画像ダイヤルによる通信動作を説明する。

【0096】ステップST301において、利用者がキー操作部107で電源オンの操作を行うことにより電源をオンとする。

【0097】この後、ステップST302において、利用者がキー操作部107で画像ダイヤルの選択を行う。これは、画像ダイヤルの選択モードとする操作を行った後、画像ダイヤルの選択操作を行うと、中央制御部111が、画像ダイヤルメモリ部113に記憶された画像ダイヤルを読み出して表示部115に表示するので、所望通話先の画像ダイヤルが表示されるまで選択操作を行

う。

【0098】このように画像ダイヤルが選択された後、ステップST303において、利用者がキー操作部107の通信キーによって発呼操作を行う。この際、番号マッチング判定部114が、画像ダイヤルの電話番号と、データメモリ部112に記憶された通話先の電話番号とを照合し、一致していれば発呼を行うように中央制御部111へ指示するが、一致していなければ発呼を中止する。

【0099】ここで、発呼が行われることにより、通話先の電話機と回線が接続されると、ステップST304において、会話が行える状態となる。その後、ステップST305において、会話終了となり、回線が切断された後は、ステップST306において、利用者がキー操作部107で電源オフの操作を行うことにより電源をオフとする。

【0100】次に、図4に示すフロー図を参照して、カメラ機能により撮影された画像の転送動作を説明する。

【0101】ステップST401において、利用者が電源をオンとする。この後、ステップST402において、利用者がキー操作部107でカメラの撮影機能を有効とする操作を行い、この後、所望の被写体をシャッター101の押下操作によって撮影する。

【0102】これによって、被写体の画像の取り込み信号が撮像入力部102に入力され、撮像入力部102で画像データに変換され、この画像データが、ステップST403において、画像メモリ部103に記憶される。

【0103】次に、ステップST404において、その記憶された画像データに、通話先の電話番号を対応付ける操作を行う。

【0104】これは、利用者の表示操作に応じて中央制御部111が、画像メモリ部103から画像データを読み出し、この読み出された画像データが表示制御部116の制御によって表示部115に表示されるので、この表示状態で、利用者が表示画像データに対応付ける転送先の電話番号を入力する。この入力、1つの画像データに対して特定の転送先の電話番号を入力するか、又は複数の転送先の電話番号を入力する。

【0105】また、電話番号の入力と同時に、相手の名前や相手の特徴を示すコメント等を入力しても良く、ま

た、キー操作部107以外に、マイク105からのボイスメモデータを入力しても良い。

【0106】但し、画像データに対応付けた転送先の電話番号は、この対応付けの際にデータメモリ部112に記憶するか、又は、データメモリ部112に予め記憶されていたものとする。

【0107】このような入力操作によりステップST405において、中央制御部111が転送先の電話番号等が対応付けられた画像データを画像メモリ部103に記憶する。

【0108】この記憶後に、ステップST406において、画像を転送するか否か利用者が判断する。この判断結果、転送するのであれば、転送する画像データを表示しながら選択する。この選択では、同一の通話先（転送先）相手の画像データが画像メモリ部103に10枚記憶されているとすると、その内、例えば3枚を転送用として選択するのか、又は10枚全てを選択するのかが実行される。

【0109】この選択後に、ステップST408において、画像転送操作を行う。この操作では、上記で図2を参照して説明したように、転送先と同一の画像ダイヤルで発呼を行うか、又は転送先の電話番号を入力して発呼を行う。これによって通話先装置と回線接続が行われる。

【0110】この際、ステップST409において、番号マッチング判定部114が、転送画像データに対応付けられた電話番号と、発呼時の電話番号とを照合し、一致していれば、ステップST410において、中央制御部111の制御によって画像データの転送が実行される。

【0111】しかし、一致していなければ、ステップST411において、画像転送が中止される。この場合、通話先と回線接続は行われているので、会話は行うことができる。

【0112】また、ステップST406の判断において、利用者が転送を行わない場合も画像転送は中止となる。そして、画像の転送後又は転送を行わない場合は、ステップST412において、利用者が電源をオフとする。

【0113】この他、通話相手と会話中に画像の転送を行う場合は、ステップST407の転送画像データの選択を行えばよい。

【0114】また、会話中であれば、この時、回線は接続状態なので電話番号の照合を行うこと無しに、上記のように表示後に利用者が選択した画像データを、所定の画像転送操作によって転送するようにしてもよい。

【0115】更に、以上の説明と同機能の相手携帯電話装置から送信されてきた画像を受信した場合は、中央制御部111が表示制御部116を介して表示部115に表示するようになっている。また、その受信画像を中央

【0096】ステップST301において、利用者がキー操作部107で電源オンの操作を行うことにより電源をオンとする。

【0097】この後、ステップST302において、利用者がキー操作部107で画像ダイヤルの選択を行う。これは、画像ダイヤルの選択モードとする操作を行った後、画像ダイヤルの選択操作を行うと、中央制御部111が、画像ダイヤルメモリ部113に記憶された画像ダイヤルを読み出して表示部115に表示するので、所望通話先の画像ダイヤルが表示されるまで選択操作を行

う。

【0098】このように画像ダイヤルが選択された後、ステップST303において、利用者がキー操作部107の通信キーによって発呼操作を行う。この際、番号マッチング判定部114が、画像ダイヤルの電話番号と、データメモリ部112に記憶された通話先の電話番号とを照合し、一致していれば発呼を行うように中央制御部111へ指示するが、一致していなければ発呼を中止する。

【0099】ここで、発呼が行われることにより、通話先の電話機と回線が接続されると、ステップST304において、会話が行える状態となる。その後、ステップST305において、会話終了となり、回線が切断された後は、ステップST306において、利用者がキー操作部107で電源オフの操作を行うことにより電源をオフとする。

【0100】次に、図4に示すフロー図を参照して、カメラ機能により撮影された画像の転送動作を説明する。

【0101】ステップST401において、利用者が電源をオンとする。この後、ステップST402において、利用者がキー操作部107でカメラの撮影機能を有効とする操作を行い、この後、所望の被写体をシャッター101の押下操作によって撮影する。

【0102】これによって、被写体の画像の取り込み信号が撮像入力部102に入力され、撮像入力部102で画像データに変換され、この画像データが、ステップST403において、画像メモリ部103に記憶される。

【0103】次に、ステップST404において、その記憶された画像データに、通話先の電話番号を対応付ける操作を行う。

【0104】これは、利用者の表示操作に応じて中央制御部111が、画像メモリ部103から画像データを読み出し、この読み出された画像データが表示制御部116の制御によって表示部115に表示されるので、この表示状態で、利用者が表示画像データに対応付ける転送先の電話番号を入力する。この入力は、1つの画像データに対して特定の転送先の電話番号を入力するか、又は複数の転送先の電話番号を入力する。

【0105】また、電話番号の入力と同時に、相手の名前や相手の特徴を示すコメント等を入力しても良く、ま

た、キー操作部107以外に、マイク105からのボイスメモリーデータを入力しても良い。

【0106】但し、画像データに対応付けた転送先の電話番号は、この対応付けの際にデータメモリ部112に記憶するか、又は、データメモリ部112に予め記憶されていたものとする。

【0107】このような入力操作によりステップST405において、中央制御部111が転送先の電話番号等が対応付けられた画像データを画像メモリ部103に記憶する。

【0108】この記憶後に、ステップST406において、画像を転送するか否か利用者が判断する。この判断結果、転送するのであれば、転送する画像データを表示しながら選択する。この選択では、同一の通話先（転送先）相手の画像データが画像メモリ部103に10枚記憶されているとすると、その内、例えば3枚を転送用として選択するのか、又は10枚全てを選択するのかが実行される。

【0109】この選択後に、ステップST408において、画像転送操作を行う。この操作では、上記で図2を参照して説明したように、転送先と同一の画像ダイヤルで発呼を行うか、又は転送先の電話番号を入力して発呼を行う。これによって通話先装置と回線接続が行われる。

【0110】この際、ステップST409において、番号マッチング判定部114が、転送画像データに対応付けられた電話番号と、発呼時の電話番号とを照合し、一致していれば、ステップST410において、中央制御部111の制御によって画像データの転送が実行される。

【0111】しかし、一致していなければ、ステップST411において、画像転送が中止される。この場合、通話先と回線接続は行われているので、会話は行うことができる。

【0112】また、ステップST406の判断において、利用者が転送を行わない場合も画像転送は中止となる。そして、画像の転送後又は転送を行わない場合は、ステップST412において、利用者が電源をオフとする。

【0113】この他、通話相手と会話中に画像の転送を行う場合は、ステップST407の転送画像データの選択を行えばよい。

【0114】また、会話中であれば、この時、回線は接続状態なので電話番号の照合を行うこと無しに、上記のように表示後に利用者が選択した画像データを、所定の画像転送操作によって転送するようにしてもよい。

【0115】更に、以上の説明と同機能の相手携帯電話装置から送信されてきた画像を受信した場合は、中央制御部111が表示制御部116を介して表示部115に表示するようになっている。また、その受信画像を中央

10

20

30

40

50

制御部 111 が図示せぬ受信用の画像メモリ部に記憶するようにしてもよい。

【0116】このように、実施の形態 1 の携帯電話装置 100 によれば、シャッタ 101、撮像入力部 102 及びカメラ制御部 106 を有するカメラ機能により被写体を撮影し、この撮像を撮像入力部 102 で画像データに変換し、この変換された画像データを、中央制御部 111 の送信制御により通話先へ送信するようにしたので、携帯電話装置 100 で、人や物等をカメラ撮影することができ、その撮影された画像を通話先の電話装置へ送信することができる。

【0117】また、中央制御部 111 が、キー操作部 107 で操作入力された通話先電話番号を、画像データに対応付けて画像ダイヤルを形成し、この形成された画像ダイヤルを画像ダイヤルメモリ部 113 に記憶し、この記憶画像ダイヤルを表示部 115 に表示し、この表示の中から、キー操作部 107 での選択操作に応じて選択された画像ダイヤルで発呼を行うようにしたので、画像に対応付けられて表示された通話先の名前や電話番号を、目視で確認することができるので、通話先の名前や電話番号を正確に認識して発呼することができる。

【0118】また、画像ダイヤルを、通話先相手又は場所の写真画像データに、その通話先相手又は場所の電話番号を対応付けて形成したので、画像ダイヤルで発呼を行えば、通話先の相手や場所を写真で確認しながら発呼することができ、これによって通話先を忘れたり、間違ったりすることが殆ど無くなり、所望の通話先へ確実に発呼することができる。

【0119】また、画像ダイヤルを、通話先相手又は場所の特徴を示すキャラクタ画像データに、その通話先相手又は場所の電話番号を対応付けて形成したので、画像ダイヤルで発呼を行えば、通話先の相手や場所を目視で確認しながら発呼することができ、これによって通話先を忘れたり、間違ったりすることが殆ど無くなり、所望の通話先へ確実に発呼することができる。

【0120】また、画像ダイヤルを、通話先相手又は場所の特徴を示す情報データに、その通話先相手又は場所の電話番号を対応付けて形成したので、画像ダイヤルで発呼を行えば、通話先の相手や場所をコメント文書等の情報で確認しながら発呼することができ、これによって通話先を忘れたり、間違ったりすることが殆ど無くなり、所望の通話先へ確実に発呼することができる。

【0121】また、画像ダイヤルを、マイク 105 から入力された通話先相手又は場所の特徴を示す音声データに、その通話先相手又は場所の電話番号を対応付けて形成したので、画像ダイヤルで発呼を行えば、通話先の相手や場所を音声情報で確認しながら発呼することができ、これによって通話先を忘れたり、間違ったりすることが殆ど無くなり、所望の通話先へ確実に発呼することができる。

【0122】また、外部のパーソナルコンピュータ等の情報処理手段を接続するインタフェース手段を備え、このインタフェース手段に接続された情報処理手段で画像ダイヤルを形成し、この形成された画像ダイヤルを画像ダイヤルメモリ部 113 に記憶するようにしたので、多種多様の画像ダイヤルの形成が容易となり、多数作成する場合にも容易に対応することができる。

【0123】また、画像ダイヤルでの発呼時に、番号マッチング判定部 114 が、その画像ダイヤルの電話番号とデータメモリ部 112 に記憶された電話番号とを照合し、双方の電話番号が一致するか否かを判定し、一致する場合に中央制御部 111 が先の画像ダイヤルで発呼を行うようにしたので、画像ダイヤルで間違った通話先に発呼されることを防止することができる。

【0124】また、カメラ撮影により得られる画像データを画像メモリ部 103 に記憶し、中央制御部 111 が、その記憶された画像データの中から、キー操作部 107 での選択操作に応じて選択された画像データを通話先へ転送するようにしたので、携帯電話装置 100 をデジタルカメラとして使用し、複数枚の画像データを撮影により得た後、所望の時間に、その中から所望の画像データを選択して通話先へ転送することができる。

【0125】また、中央制御部 111 が、キー操作部 107 から操作入力された情報データを、画像メモリ部 103 に記憶された画像データに対応付けて記憶するようにしたので、通話先に転送する画像データにコメント等の情報を付けることができ、これによって通話先相手に此方の様子や、意図することをより詳細に伝達することができる。

【0126】また、中央制御部 111 が、キー操作部 107 から操作入力された 1 つ乃至は複数の通話先電話番号を、画像メモリ部 103 に記憶された画像データに対応付けて記憶し、この記憶画像データの中からキー操作部 107 での選択操作に応じて選択された画像データを、先の通話先電話番号へ転送する際に、番号マッチング判定部 114 で、その通話先電話番号とデータメモリ部 112 に記憶された電話番号とが一致すると判定された場合に転送を行うようにしたので、画像データを相手に間違えることなく転送することができる。

【0127】また、相手の電話装置から受信した画像データを、中央制御部 111 が表示部 115 に表示すると共に、受信用の記憶手段に記憶するようにしたので、相手から転送されてきた画像を任意に表示させて見ることができる。

【0128】（実施の形態 2）図 5 は、本発明の実施の形態 2 に係る携帯電話装置の構成を示すブロック図である。但し、この図 5 に示す実施の形態 2 において図 1 の実施の形態 1 の各部に対応する部分には同一符号を付し、その説明を省略する。

【0129】この図 5 に示す実施の形態 2 の携帯電話装

図 500 が実施の形態 1 の携帯電話装置 100 と異なる点は、上記のキー操作部 107 と同機能のキー操作部 501 に @マーク入力キー 502 を設けて、インターネットのプロバイダに接続可能とし、これによって画像を電子メール (Eメール) の添付書類として送受信できるように構成したことにある。

【0130】また、中央制御部 503 は、上記の中央制御部 111 と同機能を備える他、キー操作部 501 の操作に応じて、Eメールに画像データを添付してデータメモリ部 112 に記憶する処理機能と、Eメールの送受信処理機能を備えている。

【0131】このような構成の携帯電話装置 500 の動作を説明する。まず、図 6 のフロー図を参照して Eメールに画像データを添付する場合の動作を説明する。

【0132】ステップ ST601 において、利用者がキー操作部 501 で電源オンの操作を行うことにより電源をオンとする。

【0133】ステップ ST602 において、利用者が表示部 115 を見ながら通信先相手に送信する Eメール文書を作成する。これは、利用者がキー操作部 501 から文書作成操作を行うと、この操作に応じて中央制御部 503 が表示部 115 に文書を表示しながらその文書を作成する処理を行う。

【0134】ステップ ST603 において、中央制御部 503 はステップ ST602 の処理で作成された文書に、実施の形態 1 で説明した画像データを画像メモリ部 103 から読み込んで添付する処理を行う。

【0135】ステップ ST604 において、利用者はキー操作部 501 から @マーク入力キー 502 を使用することにより Eメールアドレス (例えば、k i k u c h i @ a b c d . c o . j p) を入力する。

【0136】これは、利用者が画像添付文書作成後にキー操作部 501 から Eメールアドレスを入力すると、中央制御部 503 が、その画像添付文書に入力された Eメールアドレスを対応付ける処理を行う。

【0137】この処理後、中央制御部 503 は、ステップ ST605 において、Eメールアドレスが対応付けられた画像添付文書 (Eメールデータ) をデータメモリ部 112 に記憶する処理を行う。

【0138】そして、ステップ ST606 において、利用者がキー操作部 501 で電源オフの操作を行うことにより電源をオフとする。

【0139】次に、図 7 のフロー図を参照して Eメールを送信する場合の動作を説明する。

【0140】ステップ ST701 において、利用者はキー操作部 501 の Eメール選択操作を行う。これは、中央制御部 503 が、Eメールデータの表示操作に応じて、データメモリ部 112 から Eメールデータを読み出し表示部 115 に表示し、この後、選択操作に応じて Eメールデータを選択する。

【0141】この選択後、ステップ ST702 において、利用者がキー操作部 501 からプロバイダへの接続操作を行う。即ち、プロバイダの電話番号を入力して発呼操作を行うことにより、プロバイダに接続される。

【0142】プロバイダに接続されると、ステップ ST703 において、Eメールデータがプロバイダのホストコンピュータへ送信される。

【0143】この後、ステップ ST704 において、利用者は Eメールデータが送信されたことを確認する。

【0144】なお、Eメールデータがプロバイダへ送信されると、通信先の相手電話装置へ Eメールデータの着信があったことを通知するようになっている。

【0145】次に、図 8 のフロー図を参照して Eメールを受信する場合の動作を説明する。

【0146】ステップ ST701 において、Eメールデータの受信を待ち受けている状態で、ステップ ST702 において、プロバイダから Eメールの着信が通知されると、利用者は、その通知を確認後、キー操作部 501 で相手からの Eメール受信操作を行う。これによって中央制御部 503 が、プロバイダから Eメールデータを受信する。

【0147】この際、ステップ ST803 において、番号マッチング判定部 114 が、プロバイダから受信された自分の Eメールアドレスと、データメモリ部 112 に予め登録された自分の Eメールアドレスとが一致すれば、ステップ ST804 において、Eメールデータの受信を継続し、これによって受信された Eメールデータをデータメモリ部 112 に記憶する。

【0148】この際、ステップ ST805 において、中央制御部 503 が受信 Eメールデータを表示部 115 に表示することにより、利用者が Eメールデータの確認を行う。

【0149】一方、ステップ ST803 で Eメールアドレスが一致しなければ、中央制御部 503 が、ステップ ST806 において、Eメールの受信を中止する。

【0150】このように、実施の形態 2 の携帯電話装置 500 装置によれば、キー操作部 501 に、Eメールアドレスの構成記号である @マークを入力するための @マーク入力キー 502 を備え、中央制御部 503 が、@マーク入力キー 502 を使用して入力された Eメールアドレスによって、インターネットプロバイダのコンピュータとアクセスを行うようにしたので、携帯電話装置 500 から Eメールアドレスを容易に入力してインターネットのプロバイダへアクセスすることができる。

【0151】また、中央制御部 503 が、キー操作部 501 からの画像データ添付操作に応じて、Eメール文書に画像データを添付し、この画像添付文書に Eメールアドレスを対応付けて Eメールデータを形成し、この Eメールデータをデータメモリ部 112 に記憶すると共に、Eメールデータ送信時に、キー操作部 501 からの Eメ

ールデータ選択操作に応じてデータメモリ部 112 から送信用の E メールデータを選択するようにしたので、画像データをプロバイダへ送信する準備を容易に行うことができ、プロバイダへ送信する E メールデータを容易に選択することができる。

【0152】また、番号マッチング判定部 114 が、プロバイダから受信された E メールデータの E メールアドレスと、データメモリ部 112 に登録された E メールアドレスとを照合し、中央制御部 503 が、その照合の結果が不一致の場合に、プロバイダからの E メールデータ 10 受信を中止するようにしたので、自分宛に送信されてきた E メールデータのみを適正に受信することができる。

【0153】（実施の形態 3）図 9 は、本発明の実施の形態 3 に係る携帯電話装置の構成を示すブロック図である。但し、この図 9 に示す実施の形態 3 において図 5 の実施の形態 2 の各部に対応する部分には同一符号を付し、その説明を省略する。

【0154】この図 9 に示す実施の形態 3 の携帯電話装置 900 が実施の形態 2 の携帯電話装置 500 と異なる点は、中央制御部 901 が上記の中央制御部 503 と同機能を備える他、キー操作部 501 からの設定操作に応じて、受信された電話番号の画像データやテキストデータの受信を中止するための非受信電話番号と、受信された E メールによる画像データやテキストデータの受信を中止するための非受信キーワードとの何れか又は双方を登録し、その後、番号マッチング判定部 114 において、受信された電話番号又は E メールデータが、登録された非受信情報に一致すると判定された際に、その受信を中止する機能を備えることにある。

【0155】この実施の形態 3 の発明は、画像が転送できる携帯電話装置が普及すると、例えば、ダイレクトメールや E メールによる情報が頻繁に送られてくることが予想され、必要のない情報が送られてくるのは非常に迷惑なので、その必要のない情報を自動的にキャンセルすることができるようにしたものである。

【0156】このような構成の携帯電話装置 900 の受信データキャンセル処理の動作を、図 10 のフロー図を参照して説明する。

【0157】ステップ ST1001 において、利用者が、非受信電話番号を設定するか否かを判断する。この判断結果、設定するのであれば、ステップ ST1002 において、キー操作部 501 から非受信電話番号の設定操作を行う。この操作に応じて中央制御部 503 が非受信電話番号をデータメモリ部 112 に記憶して設定する。

【0158】一方、その判断結果、設定しなければ、ステップ ST1003 において、非受信キーワードを設定するか否かを判断する。但し、この判断は、一度、相手からのデータを受信し、このデータの必要／不要を判断することによって行われる。

【0159】この判断結果、非受信キーワードを設定しなければ、受信データのキャンセル処理を終了する。設定するのであれば、ステップ ST1004 において、受信データの単語など、例えば広告のデータであれば、セールなどの単語を非受信キーワードとしてデータメモリ部 112 に設定する。

【0160】その後、ステップ ST1005 において、受信待ち受け状態となり、ステップ ST1006 において、データが受信されると、ステップ ST1007 において、番号マッチング判定部 114 が、その受信データと、非受信電話番号又は非受信キーワードの非受信情報との照合を行う。

【0161】この結果、一致していればステップ ST1008 において、中央制御部 503 が、データ受信を中止する。

【0162】一方、一致していなければ、ステップ ST1009 において、中央制御部 503 が、データを受信してデータメモリ部 112 に記憶する。この後、ステップ ST1010 において、利用者が記憶された受信データを表示部 115 に表示して確認する。

【0163】このように、実施の形態 3 の携帯電話装置 900 によれば、中央制御部 503 が、受信された電話番号のデータの受信を中止するための非受信電話番号と、受信された電子メールによるデータの受信を中止するための非受信キーワードとの何れか又は双方を、キー操作部 501 からの登録操作に応じて登録すると共に、番号マッチング判定部 114 により受信電話番号が登録非受信電話番号と一致する、又は受信電子メールのデータが登録非受信キーワードと一致すると判定された際に、受信電話番号又は受信電子メールのデータ受信を中止するようにしたので、迷惑で不要なデータの受信を自動的に中止することができる。

【0164】以上説明した実施の形態 1～3 の携帯電話装置 100、500、900 は、移動局装置として移動体通信システムに用いられるものであり、異なる複数の周波数のキャリアを収容する W-CDMA (Wide band-Code Division Multiple Access) 方式を適用しても良い。この場合、画像データの転送を高速に行うことができる。

【0165】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、人や物等をカメラ撮影することができ、その撮影された画像を送受信することができ、更に通話先の名前や電話番号を正確に認識して発呼することができる。

【0166】また、携帯電話装置から電子メールアドレスを容易に入力してインターネットのプロバイダへアクセスすることができる。

【0167】また、不要なデータの受信を自動的に中止することができる。

50 【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の実施の形態 1 に係る携帯電話装置の構成を示すブロック図

【図 2】 実施の形態 1 に係る携帯電話装置による画像ダイヤルの登録処理の動作を説明するためのフロー図

【図 3】 実施の形態 1 に係る携帯電話装置による画像ダイヤル通信処理の動作を説明するためのフロー図

【図 4】 実施の形態 1 に係る携帯電話装置による画像転送処理の動作を説明するためのフロー図

【図 5】 本発明の実施の形態 2 に係る携帯電話装置の構成を示すブロック図

【図 6】 実施の形態 2 に係る携帯電話装置による E メール添付画像作成処理の動作を説明するためのフロー図

【図 7】 実施の形態 2 に係る携帯電話装置による E メール送信処理の動作を説明するためのフロー図

【図 8】 実施の形態 2 に係る携帯電話装置による E メール受信処理の動作を説明するためのフロー図

【図 9】 本発明の実施の形態 3 に係る携帯電話装置の構成を示すブロック図

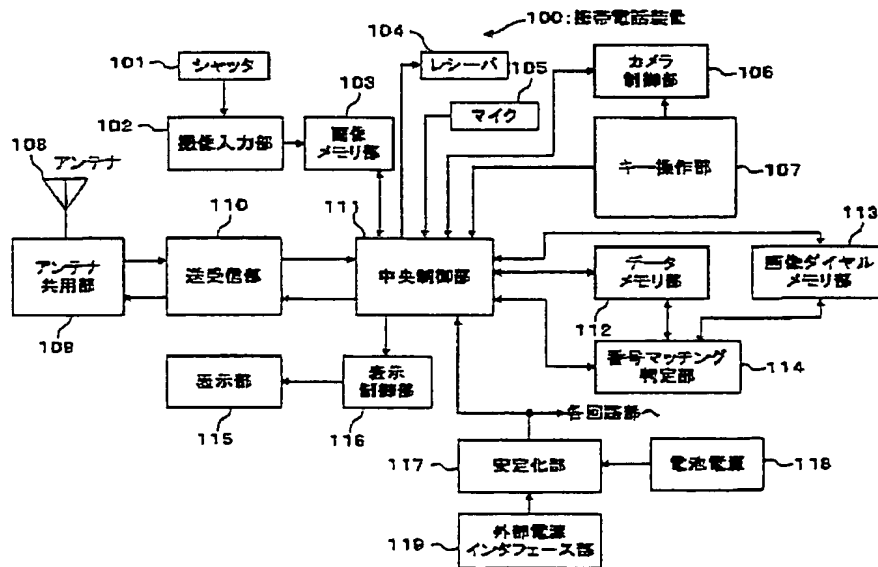
成を示すブロック図

【図 10】 実施の形態 3 に係る携帯電話装置による受信データキャンセル処理の動作を説明するためのフロー図

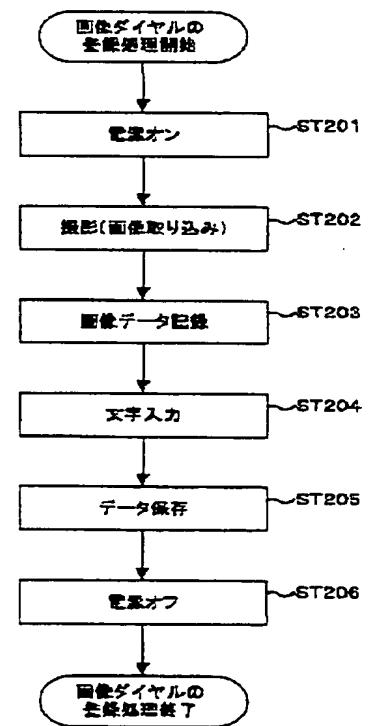
【符号の説明】

100 携帯電話装置
101 シャッタ
102 撮像入力部
103 画像メモリ部
104 レシーバ
105 マイク
106 カメラ制御部
107 キー操作部
108 アンテナ
110 送受信部
111 中央制御部
112 データメモリ部
113 画像ダイヤルメモリ部
114 番号マッチング判定部
115 表示部
116 表示制御部
117 安定化部
118 電池電源
119 外部電源インタフェース部
501 キー操作部
503, 901 中央制御部
502 @マーク入力キー

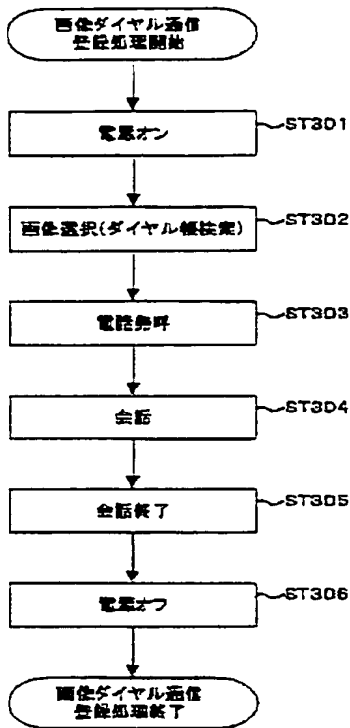
【図 1】



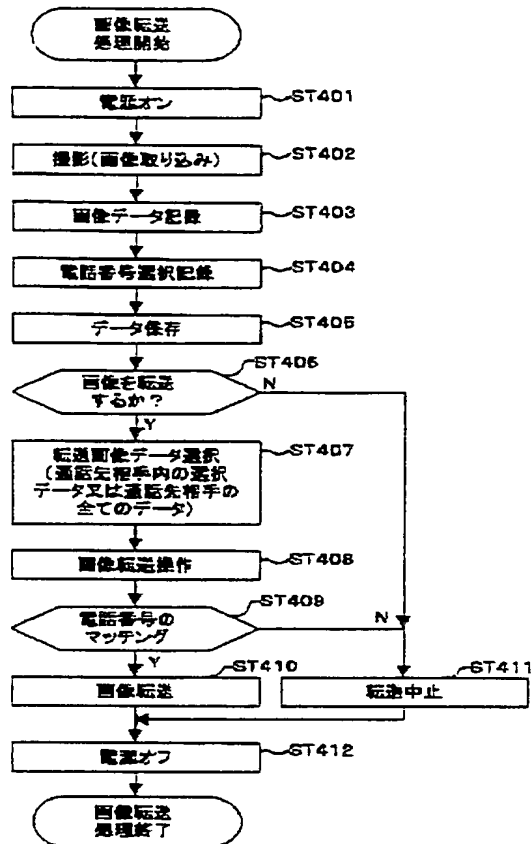
【図 2】



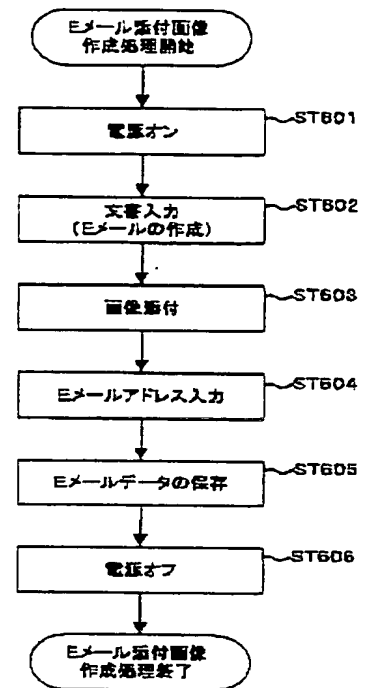
【図 3】



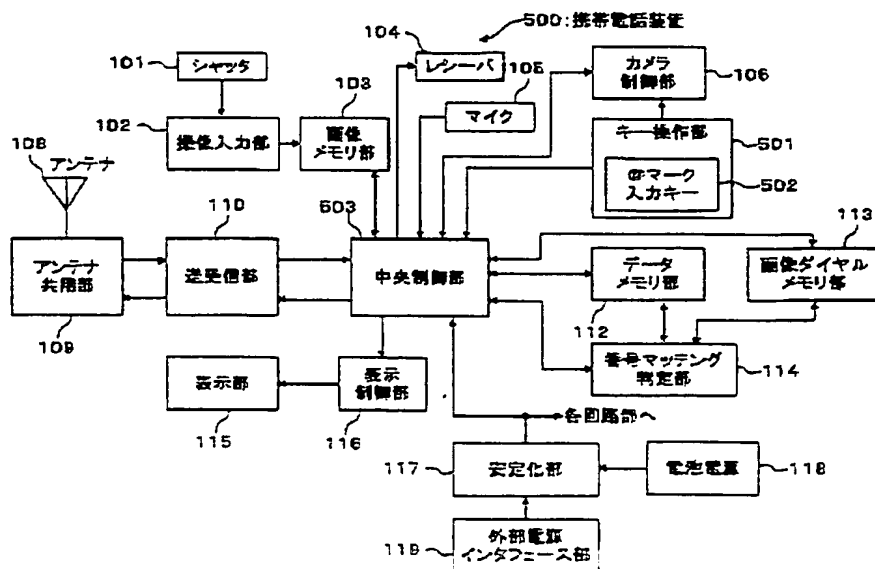
【図 4】



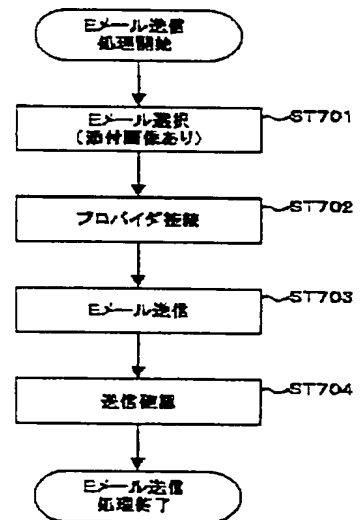
【図 6】



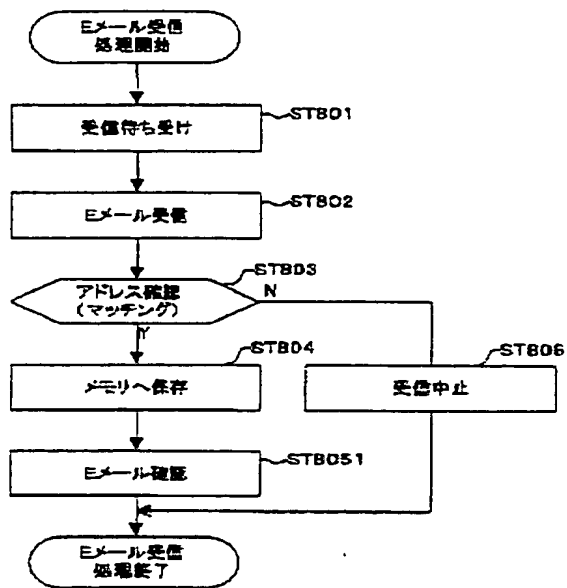
【図 5】



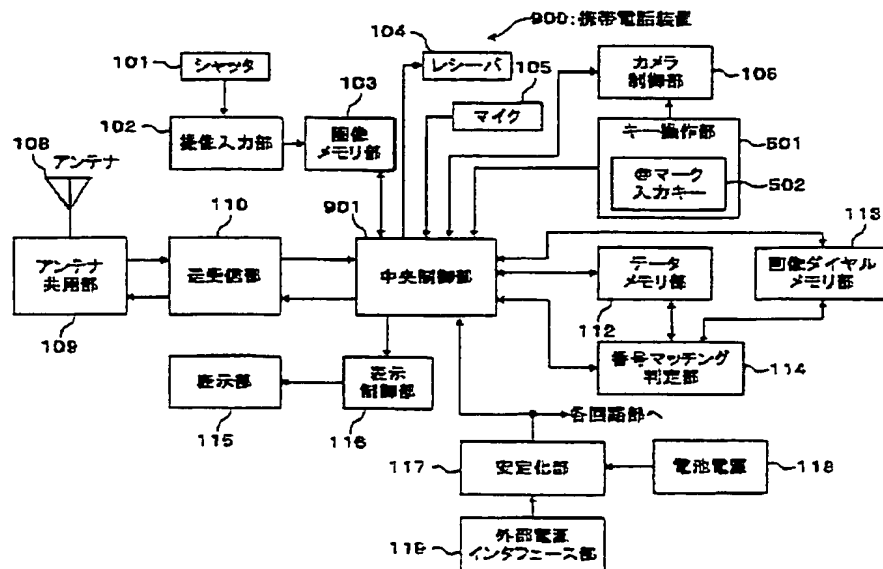
【図 7】



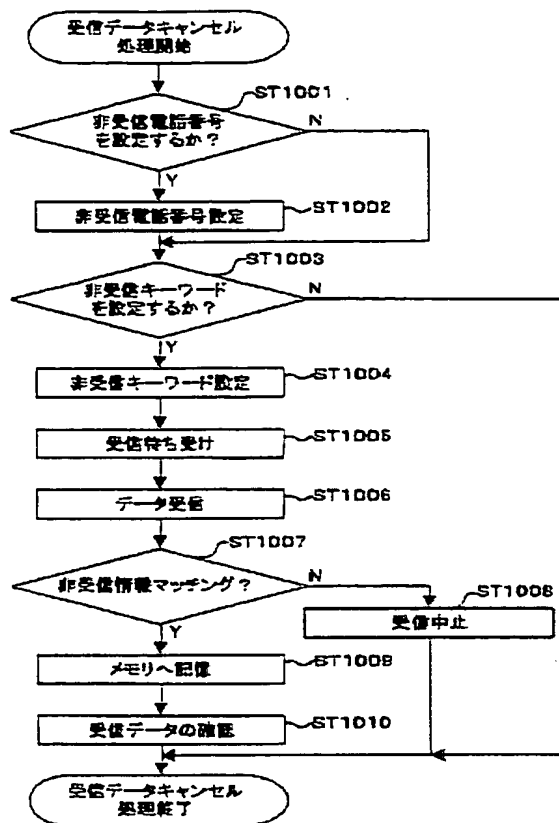
【図8】



【図9】



【図10】



フロントページの続き

(51) Int. Cl.⁷
H04N 7/14

識別記号

FI
H04B 7/26キーワード (参考)
M 5K101

Fターム (参考) 5C064 AA01 AC02 AC12 AC22 AD08
AD14
5C075 AB06 AB90 BA08 CA14 CA90
CD07 CD18 FF04
5K036 AA07 BB12 DD01 DD16 DD32
DD46 JJ02 JJ03 JJ13
5K060 BB04 CC04 CC12 DD04 HH31
HH32 LL16 NN04 PP06
5K067 AA34 BB04 CC12 DD13 DD16
EE02 FF07 FF23 HH13 HH23
5K101 KK20 LL12 NN06 NN18 NN21
PP03 PP04 RR12 RR27 SS07
TT04 TT05